

祝 創立61周年記念・町内会物価高騰対策として商品券配付

親交会として今年の5月に600円の町内会費の削減を行いました。第2弾として記念事業の積立金から1世帯ごとに2000円の商品券を7月中に配布いたします。配付は、役員が分担して行うことにしています。大工川親交会の誕生日は、1965年（昭和40年）7月30日です。昨年、60周年記念事業を行いたかったのですが、何もできませんでした。しかし、このように積立金が会員に平等に還元されることになるとは思っていませんでした。人生って不思議なものですね。



親交会の誕生について記念誌には、「昭和40年頃には、戸数も30数戸となり、夜には足元も悪く暗いので、水島さんはじめ、みんなで町内会を創って、街灯の設置や道路の問題、排水溝、その他を街に要望して、明るい街づくりを進め文化生活にも必要として、先輩、諸兄の苦労が実って築かれた。」とあります。先輩各位の思いに触れてみてはいかがでしょうか。

今年も料理講習会開催

参加者のほとんどが完食



食生活改善推進委員会の協力による料理講習会が林業センターで開催。親交会を中心に、近隣の町内会からも数名参加しています。前日の準備には、三好さん、鍋島さん、塩谷さんなどの役員も参加しています。

メインの料理は、豚肉のソテーでしたが、豚肉が苦手な方には鶏肉を使っただけの料理となっていました。このことについては、推進員の方々の腕前であり、思いやりかと思っています。

こうしたボランティア組織と町内会の連携は大事で、お互いの組織の活性化につながるのではないのでしょうか。私も料理をいただきましたが、その味は言うまでもありませんね。

★★★

26名が参加した防犯セミナー

次回はお医者さんの健康講座です

6月18日に防犯セミナー（防犯対策講座）が開催。北斗交番所長の土谷涉さんを講師に迎えて行われました。所長と署長の違いから講演がスタート。特殊詐欺については、特殊詐欺の定義からわかりやすく、例をあげて説明をしていただきました。また、自転車の走行については、ながら運転（運転中にスマートフォンを操作・注視する行為）などの悪質な場合は青切符を切られますが、そうでない場合には注意で終わることもあるとのことでした。いずれにしてもルールを守ることが大事ですね。所長さん出題の特殊詐欺の定義に関する問題

を紹介します。（ ）に適語を入れましょう。答は、行事予定の所にあります。
問題）被害者に（１）を通じて、（２）することなく信用させ、または関係を指定した預貯金口座への（３）その他の方法により、現金等をだまし取る犯罪。

お金が絡む電話は詐欺を疑っても良いようです。警察にご相談ください

（子ども会のコーナー）

学校では得られない学びを大切にしたい

子ども会では、今年の活動として、7月28日から8月1日に開催する「夏休みラジオ体操」をはじめ、まだ詳細は決まってはおりませんが、「BBQ」「秋まつり（町内会と合同企画）」「餅つき大会」「レクリエーション」などを企画し、検討しております。保護者の皆様や町内会の皆様にご協力をお願いすることもあるかと思いますが、子どもたちには楽しい体験



を通じて学校では得られない学びや近所の子どもたちへとの絆を深めてもらえたらと思っています。地域の皆様や保護者の皆様にも、ぜひ一緒に楽しみながら、子どもたちの活動を支援していただけたら嬉しく思います。

土田里香さん（子ども会の代表）

応援してね！

市のワゴンバス 10月から新規路線で運行

月1回の買い物バスを運行していますが、毎週水曜日運行の市の巡回ワゴンバスが蔵多さん宅の隣にバス停ができ、押上、親交会、自治会、みどり苑などの町内会でも利用が可能となります。押上の会長、役員が市を動かしたようです。このワゴンバスですが、有料で、1回の乗車には300円かかります。往復利用だと600円です。

■ゴミ袋について北斗市からのお知らせ

市販の透明・半透明袋でのごみの収集を 7月31日まで延長します。



3日（金） 広報配布日

7日（火） 買い物バス イオン行き ★★七夕まつり

ささのは さらさら のぎばにゆれる おほしさま きらきら～

9日（木） ふまねっとの日 高齢者センター

13日（月） 第3回役員会 林業センター 午後6時

夏の交通安全運動～22日まで 土日は活動なし

26日（日） 3町会合同防災研修会 9時30分から高齢者センター

資源ごみの回収日 ※資源ごみは、この日にお願い

※6月の資源ごみの収入 2995円でした。

特殊詐欺＜答＞

（１）電話・SNS （２）対面 （３）振込

古地図に見る大工川親交会



上の絵図は、30 年記念誌の表紙にもある函館市中央図書館に残されている「安政丙辰有川村並戸切地古地図」で、安政 3 年（1856 年）、函館奉行の役人の山口顕之進によって書かれたものである。この上磯絵図から大工川のあたりを切り取ったのが上の図である。地名の由来については、大工さんが多く住んでいたからとも言われているが、実は、よくわかっていないのである。

＜地図から読み取れること＞

1. 会所町など集落の多くは、戸切地川の左岸（下流に向かって左）にあり、押上や親交会のある右岸は沼や谷地が広がっている。谷地とは湿地のことである。
2. 押上、大工川は「御前水」のあたりと推測される。○印の所？

落合治彦氏、松野儀市氏など上磯地方史研究会が編集した「上磯町歴史散歩」には、右岸にある「御前水」についての伝説として次のように書かれている。「ある時、今の孵化場付近に湧き水を発見した。色あくまで清く、無臭のうえ透明度が深いという申し分のなさで、人々はこの上なく喜んだ。この泉は尽きることのない恵の水で、里人の間ではいつからともなく“神”が恵んでくれた水「御前水」とも言われ、飲料水の他、打身や病の治療水として珍重したといわれている。」 親交会が立地する所は、地形的には開墾が難しい谷地や大谷地の上に田んぼが開かれ集落ができ、その後、人口増加とともに、田んぼは次第に住宅地へと変貌を遂げた。

市と連携で避難行動要支援者支援計画の作成を進めます

親交会では、一昨年から避難の際に支援が必要な方々を支援するために、個別に支援計画の作成を進めています。市は、新たに支援を希望するかどうかの調査を行っています。支援を希望する方は、7月18日までに市から郵送された避難支援希望申出書に記入し、市の総務課交通防災係まで返信をお願いします。遠慮しないでください。

また、親交会でも、7月から役員で要支援者の家庭訪問を行い、緊急連絡先等についてお伺いしたいと思っています。また、新たに支援を必要とされる方は、お知らせください。

再度ご確認ください



市から手紙が届けられている要支援者の皆さん

■支援希望申込書に記入して、返信してください。

新たに支援を希望される皆さん

■会長、または民生委員の工藤さんへお知らせください。

今年の防災研修会 7月26日（日）に決定！

押上地区・大工川地区自主防災組織主催の研修会の日程と内容が、6月25日の役員会で決定しました。親交会から役員5名が参加しました。研修会の内容は2つです。一つは救急講習。もう一つはクロスロードゲームです。避難所運営は、避難した人たちが中心で行われますので、どんな課題があるのか、クロスロードで少しでも学ぼうと思いますので、ご参加をお願いいたします。研修会のチラシは、自主防災組織代表の平野代表（大工川自治会の会長）が作成をしてくれました。詳細はこちらをご覧ください。



<写真> 要支援者用の「車に乗せてのプレート」

要支援者用にB4版で左にあるような「プレート」を作成します。このプレートは、親交会の役員のアイデアから生まれたもので、後日、要支援者に配布いたします。避難時に支援者等の車に乗れなかった時に、避難経路で活用していただきたいと思います。

道民生活応援ポイント給付事業

申請期間 6月25日～11月16日

各世帯に道から「道民生活応援ポイント給付事業」についての往復はがきが届いているかと思います。ポイントが5,500円と5,000円の2つのコースがあり、どちらかを選択する必要があります。スマートフォンとマイナンバーカードをお持ちではない方はご案内のはがきを返送いただくとJCBギフトカード5,000円相当が受け取れます。申請ができますので、お早めにしませんか。